

令和4年度 「全国学力・学習状況調査」の結果について

4月に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果について報告いたします。この調査は、全国の6年生児童を対象として文部科学省が行ったものです。神奈川県及び全国平均と比較しながら分析を行っております。

1 教科別学習状況調査結果

(1) 平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
子安小学校	70.0	66.0	67.0
神奈川県	65.0 (+5.0)	64.0 (+2.0)	63.0 (+4.0)
全国	65.6 (+4.4)	63.2 (+2.8)	63.3 (+3.7)

※()内は本校の結果との差を示しています。

国語、算数、理科いずれも、神奈川県の平均及び全国平均よりも高いことが分かります。

(2) 問題区分別平均正答率 (%)

【国語】

分類	区分	平均正答率 (%)			
		子安小学校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	71.2	65.6	69.0
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	76.4	73.2	77.9
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	69.4	66.3	66.2
		B 書くこと	51.6	47.9	48.5
		C 読むこと	77.2	69.5	66.6

「我が国の言語文化に関する事項」(全国比-1.5ポイント)を除き、他の問題区分において、神奈川県の平均及び全国平均を上回っていることが分かります。特に「読むこと」に関しては、平均を大きく上回っています。(神奈川県比+7.7ポイント、全国比+10.6ポイント)。

【算数】

分類	区分	平均正答率 (%)		
		子安小学校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
学習指導要領の領域	A 数と計算	68.5	69.4	69.8
	B 図形	70.5	64.9	64.0
	C 変化と関係	56.5	53.3	51.3
	D データの活用	73.9	69.5	68.7

「数と計算」(神奈川県比-0.9ポイント、全国比-1.3ポイント)を除き、3つの問題区分において、神奈川県の平均及び全国平均を概ね3~5ポイント程度、神奈川県の平均及び全国平均を上回っていることが分かります。

【理科】

分類	区分	平均正答率(%)			
		子安小学校	神奈川県(公立)	全国(公立)	
学習指導要領の 区分・領域	A区分	「エネルギー」を柱とする領域	54.3	51.8	51.6
		「粒子」を柱とする領域	67.6	59.5	60.4
	B区分	「生命」を柱とする領域	78.5	75.6	75.0
		「地球」を柱とする領域	65.7	64.9	64.6

全ての問題区分において、神奈川県の平均及び全国平均を概ね3～5ポイント程度、神奈川県の平均及び全国平均を上回っていることが分かります。とくに「粒子を柱とする領域」に関しては、平均を大きく上回っています(神奈川県比+8.1ポイント、全国比+7.2ポイント)。

2 生活習慣・学習習慣調査結果【児童質問紙】より

全国平均と比較して、大きな差が見られた質問項目

4つの選択肢(1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない)のうち、1.を選択する割合の差		
7	自分には、よいところがあると思いますか	全国比+9.7ポイント
8	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	全国比+9.0ポイント
14	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	全国比+31.5ポイント
16	学校に行くのは楽しいと思いますか	全国比+10.6ポイント
20	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	全国比+14.6ポイント
26	読書は好きですか	全国比+14.1ポイント
38	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、語の組立てなどを工夫して発表していましたか	全国比+31.9ポイント
43	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	全国比+11.4ポイント
49	国語の勉強は好きですか	全国比+11.8ポイント
51	国語の授業の内容はよく分かりますか	全国比+16.5ポイント
57	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	全国比+14.7ポイント
61	理科の勉強は好きですか	全国比+13.0ポイント
63	理科の授業の内容はよく分かりますか	全国比+21.2ポイント
67	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	全国比+18.0ポイント
68	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	全国比+20.3ポイント
69	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	全国比+13.9ポイント

3 今後の取組

【総評】

学習状況の平均正答率は、国語、算数、理科いずれも神奈川県の平均及び全国平均をほぼ全て上回る結果となっています。また、質問紙調査の結果を見てみると、学習に対する姿勢(「勉強が好き」、「勉強は大切」、「授業の内容がよく分かる」)が全国平均と比較して、とても前向きであるということが分かります。子どもたちにとって、「楽しい」、「よく分かる」授業を行い、確かな学力や主体的に学ぶ態度をこれからも育成していきたいと思えます。

【国語】

正答率が全国平均に達しなかった「我が国の言語文化に関する事項」は、古文や漢文などに親しんだり、語句の由来や特質などを理解したりする内容です。これは数時間の小さな単元が中心となっています。今後はこういった小単元も子どもたちの実態に合わせた授業形態の工夫を心がけたいと思えます。

【算数】

「数と計算」の正答率が神奈川県の平均及び全国平均に達していませんでした。算数は既習内容を踏まえて学習していく場面が多くあります。必要に応じて学習前に既習事項を復習するといった手立てを取りながら、どの子も自信をもって学習できる授業を目指していきます。

【理科】

いずれの領域も神奈川県の平均及び全国平均を上回る結果となっています。理科は実感を伴うことが大切だと考えます。実験を大切にしながら、子どもたちが「理科が好き」と思える授業を続けていきたいと思えます。